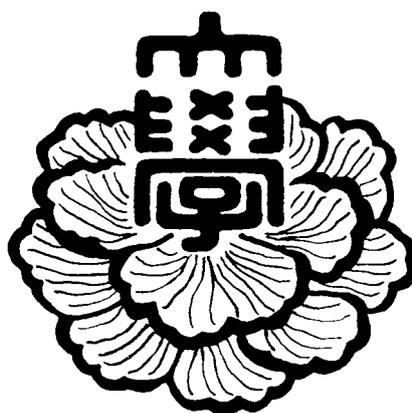


令和3(2021)年度 学生募集要項 〔社会人入試〕



●社会人入試日程表

事項	日	時
出願期間	令和2年10月1日(木)から 令和2年10月7日(水)まで	[午後5時必着]
試験実施日	令和2年11月8日(日)	医学部保健学科 農学生命科学部
合格者発表	令和2年11月26日(木)	午後2時(予定)
入学手続期限	令和3年2月17日(水)	午後5時まで

弘前大学

HIROSAKI UNIVERSITY

目 次

□	新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学者選抜方法等の特例措置について	
■	弘前大学における三つの方針（ポリシー）	1
①	実施方法等	3
②	実施学部等及び募集人員	3
③	出願の要件	3
④	出願手続	4
	(1)出願期間	4
	(2)出願書類等	4
	(3)出願書類等の提出先	5
	(4)出願上の注意	5
⑤	入学検定料の返還について	5
⑥	入学検定料の免除について	5
⑦	障害等のある入学志願者の事前相談について	6
⑧	入学試験における感染症対応について	6
⑨	選抜方法	7
⑩	配点・評価方法, 合否判定基準	8
⑪	合格者の発表	9
⑫	入学手続	9
⑬	入学料及び授業料の減免について	10
⑭	学生寮への入寮について	10
⑮	合格しなかった場合の取扱い	11
⑯	入学試験個人成績の開示	12
⑰	個人情報の取扱いについて	12
⑱	各学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	13
■	問合せ先一覧	19

新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学者選抜方法等の 特例措置について

令和2年7月 弘前大学

新型コロナウイルス感染症対策に伴う令和3年度入学者選抜の日程変更及び試験実施上の配慮措置を下記のとおりお知らせします。

今回の変更は新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う特例措置であるため、各学部等が「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」で示している入学者選抜の基本方針とは一部内容が異なることをご承知置き願います。

また、今後、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、募集要項の公表後や出願期間後であっても、やむを得ず、試験期日や選抜方法の変更等の緊急措置を実施する場合があります。緊急措置を実施する場合は、随時、本学ホームページ等でお知らせしますので、ご留意願います。

なお、各選抜の試験場においては、感染拡大の防止策を講じた上で試験を行うこととしておりますが、受験者の皆様にも感染防止対策にご協力いただくことをご承知置き願います。

記

調査書

1. 「調査書」の取扱い

高等学校の臨時休業等による影響を考慮し、一般選抜及び総合型選抜において「調査書」を評価することを予定していた学部では、評価対象から「調査書」を除きます。これにより、一部の学部において配点合計が変更となります。志願者の意欲や行動力は、主として面接試験や志望理由書等により評価し、「調査書」は面接試験の参考として使用することがあります。

なお、高等学校の臨時休業により第3学年の評定を記載できない場合は、その理由（例：「新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業のため記載不可。」）を記載してください。

総合型選抜

2. 総合型選抜における出願要件の変更

(1) 人文社会科学部

「調査書」における全体の学習成績の状況（評定平均値）の要件（4.0以上）を除外します。また、専門高校枠志願者の資格試験の要件を除外するとともに、修得科目単位の要件は令和3年3月までの修得見込みを認めます。

(2) 医学部医学科

「調査書」における全体の学習成績の状況（評定平均値）の要件（4.3以上）について、出願時において第3学年の評定を記載できない場合は、第2学年までの評定による全体の学習成績の状況を対象とします。

(3) 医学部保健学科

「調査書」における全体の学習成績の状況（評定平均値）の要件（3.5以上）を除外します。

3. 総合型選抜の試験日程変更

総合型選抜の試験日程を、次の日程に後ろ倒しして実施します。

区分	出願期間	試験実施日	合格発表日
総合型選抜Ⅰ	10月1日～7日	11月7日～8日	11月26日
総合型選抜Ⅱ			2月10日

*入学手続は、2月17日までとします。

4. 総合型選抜の選抜方法変更

教育学部の総合型選抜Ⅰにおいて、下記専修の実技の選抜方法を予告から変更します。

学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース

音楽専修：一部の課題は動画の事前提出とし、試験当日の実施方法も変更

保健体育専修：柔道及びバスケットボールは、他者との接触を伴わない形で実施

医学部医学科の総合型選抜Ⅱにおいて、ワークショップを実施しないこととします。これにより、配点合計が変更となります。

5. 総合型選抜Ⅰ合格者の大学入学共通テスト受験の取扱い変更

総合型選抜Ⅰの合格者については、勉学意欲継続という趣旨に鑑み、予告では大学入学共通テストの受験を必須としていましたが、これを任意とします。

一般選抜

6. 一般選抜の試験日程変更

一般選抜の出願期間を、1月25日～2月5日に変更します。

また、一般選抜後期日程の入学手続は、3月26日までとします。

7. 一般選抜 個別学力検査の出題範囲

一般選抜 個別学力検査の出題範囲に変更はありません。ただし、数学Ⅲ及び理科の出題に関し、教科書において「発展的な学習内容」として記載されている内容から出題する場合は、設問中に補足事項を記載するなどの配慮をします。

8. 一般選抜の試験期日の配慮

新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない者、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として自宅待機している者、試験当日に発熱・咳等の症状があり受験を取り止めた受験者のために、医師の診断書等の提出を条件として、一般選抜前期日程・後期日程において、下記の日程で追試験を実施します。

追試験日：3月22日（試験会場は弘前地区のみ。本試験と同じ選抜方法で実施。）

大学入学共通テスト特例追試験

9. 大学入学共通テスト特例追試験受験者の試験日程変更

大学入学共通テスト特例追試験受験者の試験日程を、下記のとおり別途設定します。

総合型選抜Ⅱ：合格発表日2月22日、入学手続2月27日まで

一般選抜前期日程・後期日程：出願期間2月15日～18日

その他の入試

10. 社会人入試の試験日程変更

総合型選抜に合わせて試験日程を変更し、出願期間を10月1日～7日、試験実施日を11月8日、合格発表日を11月26日に後ろ倒しして実施します。

11. 私費外国人留学生入試における日本留学試験の取扱い、試験日程及び選抜方法変更

2020年6月の日本留学試験が中止されたことに伴い、出願要件の対象とする試験に2019年（6月又は11月）の日本留学試験を加えます。

一般選抜の変更に合わせて、出願期間を1月25日～2月5日に変更します。

また、教育学部音楽専修の実技の選抜方法について、一部の課題を動画の事前提出にするとともに、試験当日の実施方法を変更します。

以上

弘前大学における三つの方針（ポリシー）

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していかうとする行動力
- 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していかうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

■解説：入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学の入学者受入れの方針の「学力」「行動力」「意欲」といったキーワードには、入学時に学生が身に付けておくべき力と卒業時に学生が身に付けておくべき力の2つが含まれています。その理由は、大学教育を効果的に実践し、学生を主体的で能動的な知的探究者として社会に送り出していくためには、学生が入学前に身に付けて来た学力の芽を大きく育て、花開かせることが重要だと考えているからです。

学生が入学時に身に付けておくべき力とは、「学力の3要素」です。学力の3要素は、初等中等教育において身に付けるべき学力です。その内容は、①基礎的な知識・技能、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、となっています。

また、卒業時に学生が身に付けるべき力とは、弘前大学の「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」で掲げている「見通す力」「解決していく力」「学び続ける力」です。詳細は本ホームページの該当部分を読んでみてください。

「学力」「行動力」「意欲」には、弘前大学の教育目的が内包されているため、「学力」「行動力」「意欲」は「学力の3要素」と完全一致してはおりません。ただし、教育理念の点で、両者は一致しています。よって、弘前大学の入学者選抜では、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

実際の入試の内容や方法は、学部や学科、あるいは入試形態によって異なります。詳細は各学部の入学者受入れの方針、入学者選抜要項・募集要項を確認してください。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は、学生の主体的・能動的な知的探究を通して、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

(1) 教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。

－見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより、国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

－解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

(2) 専門教育：専門教育は、学生の探究の集大成です。

－見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで、自然や社会への洞察を深化させます。

－解決していく力

学生に、専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も、実践を通して培います。

(3) 学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

－学び続ける力

卒業後、学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立します。

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は、変化が激しく、将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み、高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身に付けた者に対して学位を授与します。

－ 学際的な教養と高度な専門性を身に付け、学術的観点から自然や社会を見通す力

－ 学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力

－ 常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

*カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は、ホームページでご覧いただけます。 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/policy/policy.html>

1 実施方法等

社会人入試は、社会人経験を有する者を対象とし、各学部等が課す小論文試験や面接試験等によって入学者の選抜を実施します。各学部等が実施する小論文試験等を全て受験していない場合には、合格者とはなりません。

2 実施学部等及び募集人員

実 施 学 部 等			募 集 人 員
医 学 部	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	若 干 名
		理 学 療 法 学 専 攻	若 干 名
農 学 生 命 科 学 部	生 物 学 科	若 干 名	
	分 子 生 命 科 学 科	若 干 名	
	食 料 資 源 学 科	若 干 名	
	国 際 園 芸 農 学 科 ※	若 干 名	
	地 域 環 境 工 学 科	若 干 名	

※ 国際園芸農学科においては、2年次に1週間程度の「海外研修入門（必修）」を行います。実習経費のうち、往復旅費、宿泊料等については本学の規定の範囲内で大学負担しますが、諸経費等は個人負担となります。詳細については、入学後のオリエンテーションにおいて説明します。

3 出願の要件

次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、以下に掲げる学部・学科等ごとの出願要件を満たす者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定（ただし、同条第6号の規定を除く）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

注) 学校教育法施行規則第150条第7号

「大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で18歳に達した者」に該当する方は、入学資格審査が必要となるので、令和2年8月21日（金）までに入試課に申し出て下さい。

学 部 ・ 学 科 等	学 部 ・ 学 科 等 ご と の 出 願 要 件
医 学 部 保 健 学 科 看 護 学 専 攻	令和3年3月31日までに満21歳に達し、社会人の経験を3年以上有する者又はその見込みの者
医 学 部 保 健 学 科 理 学 療 法 学 専 攻	令和3年3月31日までに満22歳に達し、出願時において社会人の経験を満1年以上有する者
農 学 生 命 科 学 部	令和3年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者又はその見込みの者

注) 社会人の経験には、アルバイト、家事従事等を含みます。ただし、全日制の学校（定時制及び通信制以外の学校）の在学期間は、社会人の経験には含みません。

4 出願手続

出願書類等を一括して本要項に添付の封筒に入れ、郵送（書留速達）してください。

(1) 出願期間

令和2年10月1日(木)～10月7日(水) 午後5時必着

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の平日午前9時から午後5時までに持参してください。

出願書類受付期間後に到着したものは受理しません。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(2) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
A. 全志願者共通	
1. 志願票	募集要項に添付の様式により提出してください。
2. 写真票, 受験票	募集要項に添付の様式により提出してください。 写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きのもの（タテ4cm×ヨコ3cm）を貼り付けてください。
3. 「振替払込受付証明書（大学提出用）」貼付台紙	検定料17,000円を要項に添付の「払込取扱票」を用いて、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。払込期間は、「払込取扱票」に記載のとおりです。払い込み済みの「振替払込受付証明書（大学提出用）」を所定用紙の貼付台紙に貼り付けて提出してください。 （注意）払い込み済みの検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 1. 検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合 2. 検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合 3. 誤って検定料を二重に払い込んだ場合 上記1～3のいずれかに該当する場合は、速やかに弘前大学学務部入試課までお問い合わせください。
4. 調査書等	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校（高等学校長等）が作成した「調査書（厳封）」を提出してください。 出身学校の事情（廃校、被災、文書保管期間の超過等の理由）により「調査書」を提出できない場合は、「卒業証明書（厳封不要）」及び「成績証明書（厳封）」又は単位修得証明書（厳封）」を提出してください。「成績証明書」等も提出できない場合は、その旨を書面（様式任意、自書・捺印）で申し出てください。 本人がり災等により上記の書類を整えられない場合は、出身学校所管の教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれらに代わる証明書を提出してください。 高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定合格者も同様）については「合格成績証明書」をもって、調査書に代えることができます。
5. 志望理由書	募集要項に添付の様式により提出してください。
6. 履歴書	募集要項に添付の様式により提出してください。
7. 受験票返送用封筒	募集要項に添付の封筒に、志願者本人の住所・氏名を明記し、切手374円（速達）分を貼付して提出してください。
8. あて名票	募集要項に添付の様式により提出してください。
B. 医学部保健学科看護学専攻 志願者のみ	
1. 推薦書	募集要項に添付の様式により提出してください。 職場の上司・友人・家族などで23歳以上の者から1通
2. 自己推薦書	募集要項に添付の様式により提出してください。
C. 希望者のみ	
成績開示用封筒（希望者のみ）	入学試験個人成績の開示を希望する場合は、長形3号を各自用意し、送付先住所、志願者氏名を明記のうえ、切手519円（書留）分を貼付してください。

注) 証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出してください。

(3) 出願書類等の提出先

志 願 学 部 等	提 出 先
医 学 部 保 健 学 科	〒036-8564 青森県弘前市本町66-1 弘前大学保健学研究科学務グループ 電 話 0172 (39) 5911
農 学 生 命 科 学 部	〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部入試課 電 話 0172 (39) 3122

(4) 出願上の注意

- 1 出願書類の不足や、記載事項の記入漏れ等、不備のあるものは受理しません。
- 2 提出後の出願書類の内容変更等は認めません。ただし、住所等の連絡先が変更となった場合は、速やかに連絡してください。
- 3 提出受理後の出願書類は、いかなる理由があっても返却いたしません。
- 4 提出した出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

5 入学検定料の返還について

払い込み済みの入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ①入学検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合
- ②入学検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合
- ③誤って入学検定料を二重に払い込んだ場合

上記のいずれかに該当する場合は、払い込み名義人本人からの申し出（本学の定める様式による）に基づき、口座振り込みにより返還します。

上記のいずれかに該当する場合は速やかに入試課までお問い合わせください。

6 入学検定料の免除について

弘前大学では、自然災害による被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、令和2年度に実施する入学者選抜試験について、以下のとおり入学検定料を免除する措置を講じます。

1 免除対象となる入学者選抜試験

令和2年度に実施する学部入試及び大学院入試（科目等履修生、研究生及び聴講生は対象外）

2 対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、東日本大震災（平成23年3月11日発生）及び令和2年度に災害救助法が適用された地域で被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者が居住していた家屋（持家に限る）が、全壊、大規模半壊、半壊流失と認定された方

東日本大震災においては、岩手県、宮城県及び福島県の全市町村並びに青森県、茨城県、栃木県及び千葉県の災害救助法適用市町村に居住していた方

- (2) 学資負担者が災害により死亡または行方不明となった方

- (3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難地域、居住制限区域または避難指示解除準備区域に指定された方

注) 令和2年度災害救助法の適用を受けない地域であっても、り災証明書等の提出により対象となる場合がありますので、学務部入試課へお問い合わせください。

3 申請の方法

事前に学務部入試課へ電話等で問い合わせの上、所定の申請書に証明書類を添えて、出願書類とともに提出してください。この場合は、出願時に入学検定料を払い込まないでください。

詳細については、弘前大学入試情報ホームページでご確認ください。

7 障害等のある入学志願者の事前相談について

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする方は、令和2年9月11日（金）までに、あらかじめ本学に申し出たうえで「弘前大学入学者選抜試験に係る事前相談申請書」（所定様式）を提出してください。

なお、相談内容によっては、事前の準備等に時間を要する場合がありますので、できるだけ早めにご相談ください。

○連絡先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

弘前大学学務部入試課

電 話 0172 (39) 3122

○様式ダウンロード先 本学入試情報ホームページ (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>)

8 入学試験における感染症対応について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合や、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として、試験当日、自宅待機となっている場合は、受験できません。また、継続して発熱・咳等の症状がある、又は発熱・咳等の症状があり試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合も、受験を取り止めてください。いずれの場合も、追試等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。

受験者は、下記事項に留意して臨んでください。

- (1) 発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関を受診してください。
- (2) 試験当日は検温してきてください。
- (3) 試験当日の検温で37.5度以上の熱はないが発熱・咳等の症状がある場合は、その旨を試験場の入場受付担当者や試験監督者に申し出てください。
- (4) 試験場内では、必ずマスクを着用し、昼食時及び試験関係者からの指示があった場合以外は常に着用してください。
- (5) 試験室への入退室を行うごとに手指消毒を行ってください。
- (6) 試験場内の移動や休憩時間、昼食時において、他者との接触、会話を極力控えてください。他者との距離を保って行動し、休憩時間等においても、自席以外に座らないでください。
- (7) 受験者控室は設けませんので、できる限り入場時間に合わせて試験場に来てください。
- (8) 障害等の理由がある場合を除き、保護者の方の付き添いは控えてください。
- (9) 昼食が必要な場合は持参し、試験室内の自席でとってください。
- (10) ごみは各自持ち帰ってください。特に、使用したマスクは試験場内で廃棄しないでください。
- (11) 日頃から、手洗い・手指消毒、うがい、身体的距離の確保、「三つの密」の回避等により各自感染

防止に努め、体調管理には十分注意してください。

- (12) 今後、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、募集要項の公表後や出願期間後であっても、やむを得ず、試験期日や選抜方法の変更等の緊急措置を実施する場合があります。
- (13) 上記の緊急措置を実施する場合は、ホームページ等でお知らせしますのでご留意願います。

9 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、志望理由書等）、小論文及び面接の結果を総合して判定します。

(1) 試験実施日時及び試験場

○医学部（保健学科看護学専攻、理学療法学専攻）

試験実施日	科目等	時間	試験場
11月8日（日）	小論文	9:00～11:00	医学部保健学科
	面接	12:00～17:00（※）	

○農学生命科学部

試験実施日	科目等	時間	試験場
11月8日（日）	小論文	9:00～10:30	総合教育棟
	面接	11:00～17:00（※）	

（※）試験終了時間は予定より早くなる場合があります。

(2) 小論文の出題形式

一つのテーマについて論述させる。医学部保健学科理学療法学専攻では、二つのテーマについて論述させる。

(3) 面接の方法

面接は、個人面接方式（複数の教員で、受験者1人ずつの面接）で行い、1人当たり15分程度とする。

- 医学部保健学科看護学専攻の面接では、提出された自己推薦書をふまえて5分程度の口頭発表を行った後、口頭発表の内容について複数の教員との間で質疑応答を行う。
- 農学生命科学部の面接では、基礎学力に関する口頭試問を行うことがある。

10 配点・評価方法，合否判定基準

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">医 学 部</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">看護学専攻</p>	<p>【配点】 小論文 100点，面接 100点 合計 200点</p> <p>【評価方法】 1. 小論文と面接及び出願書類を総合的に評価する。 2. 小論文及び面接については，点数化して評価する。 (小論文) 課題についての自分の考えを的確に述べていること，文章表現が豊かで，かつ，独創的であること，論旨が明確であること等を総合的に評価する。 (面接) 本専攻への関心，意欲，適性等を客観的に評価する。</p> <p>【合否判定基準】 1. 小論文，面接の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は，小論文，面接の順序で得点の高い者を上位とする。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">保 健 学 科</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">理学療法専攻</p>	<p>【配点】 小論文 200点，面接 100点 合計 300点</p> <p>【評価方法】 1. 小論文と面接及び出願書類を総合的に評価する。 2. 小論文及び面接については，点数化して評価する。 (小論文) 課題は二つである。そのうち一つは，英語で課題が与えられる。二つの課題について，自分の考えを的確に述べているか（どちらの課題についても日本語で），文章表現が豊かで，かつ独創的であるか，論旨が明確であるか等を総合的に評価する。 (面接) 本専攻への関心，意欲，適性等を客観的に評価する。</p> <p>【合否判定基準】 1. 小論文，面接の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は，小論文，面接の順序で得点の高い者を上位とする。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">農 学 生 命 科 学 部</p>		<p>【配点】 小論文 100点，面接 100点 合計 200点</p> <p>【評価方法】【合否判定基準】 1. 小論文と面接及び出願書類を総合的に評価する。 2. 小論文及び面接については，点数化し合計点の6割（120点）以上を合格の目安とする。 (小論文) 課題について題意を適切に理解し，自分の考えや意見を的確に論述しているか等について複数の教員で総合的に評価する。 (面接) 志望学部・学科への興味・関心・意欲・適性を客観的に評価する。</p>

11 合格者の発表

発表日時	発表方法
令和2年11月26日(木) 午後2時(予定)	特設サイト (https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/) 上で発表



合格者には、「合格通知書」を合格発表後速やかに、出願時の登録住所あてに速達で郵送します。合格者の受験番号は本学ホームページでも確認できますが、ホームページの掲載情報は本学の情報提供サービスの一環として行うものであり、「合格通知書」をもって正式な通知とします。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

注)「合格通知書」の到着には、地域にもよりますが、合格発表後2～3日かかる場合があります。

12 入学手続

(1) 入学手続の方法

入学試験に合格した方は、郵送により、入学手続を行ってください。

期限までに手続を完了しない方は、入学を辞退したものとして取り扱います。

(2) 入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には、以下のものが必要になります。

詳細は合格通知書送付の際にお知らせします。

I. 合格通知書	合格発表時に送付します。
II. 誓約・保証書	合格通知の際に、本学所定用紙を送付します。本人と保証人それぞれの印鑑が必要になります。
III. 入学料 282,000円(予定)	合格通知の際に、本学所定の振込用紙を送付します。銀行窓口での納付となります。

※ 授業料は、年額535,800円(前期分267,900円 後期分267,900円)(予定)になりますが、納付期限は、前期分5月31日、後期分10月31日です。

※ 入学時までに入学金及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 入学金及び授業料の減免については次ページの「13 入学金及び授業料の減免について」をご覧ください。

(3) 入学手続に関する注意事項

① 納付済みの入学金については、入学手続完了後は、いかなる理由があっても返還しません。

② 納付済みの授業料については、令和3年3月31日(水)午後5時までに入学を辞退した方に限り、当該授業料相当額を返還します。

13 入学料及び授業料の減免について

〈日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用候補者の方」へ〉

日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用候補者の方」は、本学への入学手続きの際に入学料及び授業料の減免を申請することにより、入学料及び令和3年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

なお、減免申請手続きの詳細は、合格者の方に送付する文書に記載しています。

〈日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申込み方へ〉

日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申込みなかった方も、本学入学後に同機構の給付奨学生の「在学採用」に申込み、給付奨学生に採用された場合は、入学料及び令和3年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

なお、一連の手続きに関する詳細は、合格者の方に送付する文書に記載しています。

※日本学生支援機構の給付奨学生に申込みするためには、「世帯収入や資産の要件」や「国籍に関する要件」、「大学等に進学するまでの期間に関する要件」など、いくつかの要件をすべて満たしている必要があります。ついては、日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申込み場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」→「入学料・授業料免除の申請」に記載されている関連リンク先を参照の上、**「在学採用」の申込み要件を満たしているか否かを必ず確認**してください。「在学採用」の申込み要件を満たしていない方は、入学料及び授業料の減免を申請することはできません。

〈重要事項説明〉

日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用候補者の方」も、同機構の「在学採用」に申込み方も、本学から「授業料等減免認定結果通知書」が届くまでは、絶対に、入学料及び令和3年度前期授業料を支払わないでください。

本学から送付される「授業料等減免認定結果通知書」を受け取る前に、入学料もしくは令和3年度前期授業料を支払ってしまった場合、入学料及び授業料の減免申請は無効となりますので、十分に注意してください。

〈問合せ先〉

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部学生課 生活支援グループ

電話：0172 (39) 3117

時間：平日 9:00～17:00

(ただし、令和3年2月24日、25日及び3月11日、12日を除く。)

※ 令和3年2月24日、25日及び3月11日、及び12日は一般選抜実施及びその準備のため不在となります。窓口での申請書類受取及び電話照会ができませんので注意してください。

14 学生寮への入寮について

入寮を希望する場合は、事前に「入寮希望調書」等を提出する必要があります。以下の方法により必要書類を取り寄せ、期日までに提出してください(受験区分によっては、入学試験日・合格発表日より前に受付期間が設けられている場合がありますので、ご注意願います)。

(1) 必要書類の請求方法

① 郵送により請求する場合

- 往信用封筒の表に「入寮案内請求」と朱書きしてください。
- 往信用封筒の裏に「住所」,「氏名」を記入してください。
- 返信用封筒（長形3号, 返信先住所・宛名記入, 切手94円分貼付）を同封してください。

② 弘前大学ホームページから取得する場合

- 所定の様式等をダウンロードしてください。

③ 入寮案内等の発送並びにダウンロード開始は, 令和2年11月18日（水）からです。

(2) 資料の請求先（入寮に関する問合せもこちらまで）

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部学生課 学生支援グループ
電話：0172 (39) 3107

(3) 入寮希望調書等の受付期間（最終日17時必着）

令和3年1月4日（月）～令和3年1月15日（金）

15 合格しなかった場合の取扱い

社会人入試に合格しなかった場合に一般選抜の受験を希望する者は, 「前期日程」から一つ, 「後期日程」から一つの合計二つの国公立大学・学部に出願することができます。

出願にあたっては, 各大学・学部等により大学入学共通テストの受験を要する教科・科目が異なる場合があるので特に注意してください。

「令和3年度学生募集要項（一般選抜）」(11月下旬公表予定) は本学ホームページ (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>) からダウンロードできます。

16 入学試験個人成績の開示

令和3年度入学試験における個人成績を以下のように開示します。

開示内容	小論文、面接の得点を開示します。
開示方法及び期間	令和3年5月6日（木）～5月31日（月）の期間中に、出願時に開示を希望した志願者に、個人成績通知書を書留郵便で送付します。
申請方法	出願の際に「志願票」において希望の有無を申し出てください。 成績開示を希望する場合は、返信用の封筒を各自で用意し、出願書類と併せて提出してください。 返信用封筒は、長形3号を使用し、送付先住所（※）、志願者氏名を明記のうえ519円（書留）分の切手を貼付してください。 出願時に成績開示を希望しなかった場合は、成績開示はできません。また、返信用封筒が同封されていない場合や切手代が不足している場合は、成績開示を希望しないものとして取り扱います。 ※返信用封筒には、確実に受領できる住所を記入してください。

17 個人情報の取扱いについて

(1) 利用目的

志願者から提出された個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用します。

- ①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。
- ③その他、教育・研究に関すること。

(2) 第三者への提供

入学後の学生生活支援等のため、出願書類のうち「あて名票2-A、2-B（弘前大学生協用）」を、本学と業務委託契約を締結している弘前大学生協へ提供します。

弘前大学生協では、これを利用して「大学生生活案内・教科書教材（教科書販売・パソコン等）・アパート等の情報を掲載した資料」を送付します。

この取扱いに同意する場合は、「あて名票2-A、2-B（弘前大学生協用）」に住所・氏名等を記入し、出願書類と共に提出してください。提出されなかった方には当該資料は送付しません。

(3) 保健所等の行政機関への提供

受験者や試験監督者等の新型コロナウイルスへの感染が判明した場合に、濃厚接触者の特定を行うため、受験者リストを域内の保健所等の行政機関に提供します。

18 各学部の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

医学部保健学科

1) 医学部保健学科が求める学生像

医学部保健学科では、保健医療の高度な知識及び技術を習得し、豊かな人間性と問題解決能力を備え、創造性、独創性と国際的視野を有し、社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 保健医療専門職となるための学修に必要な基礎的学力
- 将来、他の医療職者と協調しながら保健医療活動を実践するための行動力
- 向上心と研究心を基に、保健医療の実践者として社会に貢献する強い意欲

また、医学部保健学科の各専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【看護学専攻】

- 人間や生命、健康に関心を持ち、看護専門職者として知的・人格的に成長しようとする意欲のある人
- 人間の尊厳を重んじ、人や社会、文化の多様性を認め、人と良好な関係を築くことができる人

【放射線技術科学専攻】

- 診療放射線技師専門職となるための学修に必要な学力を有し、特に理系の科目をしっかりと履修した人
- チーム医療の一員として積極的にコミュニケーションを図り、他の医療技術者と互いに協力し合い、より良い医療を提供するための行動力のある人
- 医療を安全に行う能力を有し、生涯にわたり向上心・探究心を持ち続け、知的・人格的に成長しようとする意欲のある人

【検査技術科学専攻】

- 医療従事者としての自覚とチーム医療遂行のための協調性を持ち、鋭い観察力と洞察力ならびに応用力を備えて保健医療の発展のために積極的に行動できる人
- 自然科学、保健医療、臨床検査に強い関心を持ち、検査職をとおして人々の健康維持・増進に積極的に取り組む意欲のある人

【理学療法学専攻】

- 他者と適切な関係を築きながら、さまざまな人たちと協働して、障害者等が抱える問題の解決に取り組む行動力を有する人
- 理学療法士として向上心・研究心を持って保健医療に取り組み、障害者等のリハビリテーションに貢献したいという強い意欲のある人

【作業療法学専攻】

- 作業療法の対象者の個別の価値観や生活を尊重し、対象者の希望に沿った作業活動を考えつつ実践するための行動力のある人
- チーム医療の一員として、他職種を尊重しながら、作業療法を積極的に実行する意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 医療従事者は、高度な知識や技術が求められますので、高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- チーム医療の一員として医療に関わることも多いため、課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
- 研究心や探求心などにに基づき、さまざまなことに関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部保健学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するとともに、医療従事者としての資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	小論文(該当する専攻のみ)				
	志望理由書				
	調査書				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための基礎的学力、資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	小論文				
	個人面接				
	志望理由書				
	調査書				
編入学入試 (第3年次)	学力検査	専門教育についての学習に強い意欲と行動力を評価するという観点から、「学力」については、学力検査と小論文、「意欲」、「行動力」については個人面接で評価し、総合評価して選抜します。	◎	◎	◎
	小論文				
	個人面接				

注) 点数評価・段階評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

注) 編入学試験では、志望理由書は面接の基礎資料とする。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	一般・前期	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力、論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。 また、さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力の観点から「意欲」、「行動力」も評価します。
	編入学	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力、論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。
	総合Ⅱ	
個人面接	総合Ⅱ	自己PR、志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路、高等学校での学習や課外活動等について質疑応答を行います。 志望理由、専門分野に関する興味関心についての質疑応答の内容から「意欲」、課外活動・ボランティア活動についての質疑応答の内容から「行動力」を評価します。
	編入学	
学力検査	編入学	英語の基礎学力を問う問題に解答させます。 英文和訳においては英語の文章の読解力と日本語の表現力を評価します。
志望理由書	一般・前期	志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉強やさまざまな活動をとおして得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「意欲」を評価します。
	総合Ⅱ	
調査書	一般・前期	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、主に「行動力」を評価します。
	総合Ⅱ	

農学生命科学部

1) 農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では、農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身に付け、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育や、農学および生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力(高等学校の教科全般、特に理科、英語、数学)
- 農学および生命科学をとおして国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- 農学と生命科学に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また、農学生命科学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【生物学科】

- 生物学の遺伝子レベルから生態系レベルにわたるさまざまな基礎的知識や応用的知識を、実社会への参画をみすえ、積極的に身に付けようとする行動力を持つ人
- 生物学に強い興味を持ち、動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象のしくみや生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

【分子生命科学科】

- 分子レベルでの生命現象の理解や知識を活用した産業(例えば、医薬品、食品、化学工業など)および学問分野で活躍しようとする行動力を持つ人
- 生命現象のしくみや機能に興味を持ち、高校で学習した生物や化学の知識を基に分子レベルでこれを理解し、さらに追求する意欲のある人

【食料資源学科】

- バイオテクノロジー、食品科学、作物生産環境について目的意識を持って学ぶことができ、これらの研究を積極的に行うことができる行動力を持つ人
- 学びの中からさまざまな課題を自ら見出し、解決する力を養い、学修後にそれを食料生産や食品産業に役立てようとする意欲のある人

【国際園芸農学科】

- 地域農業の活性化や国際的な展開に取り組む行動力を持つ人
- 農業生産の技術とその原理を学ぶことに意欲のある人
- 食と農の経済を学ぶことに意欲のある人

【地域環境工学科】

- 自立した農業土木技術者として、社会的責任を自覚し、自主的継続的に学修し、多様な人々と協働し、国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- 数学や物理学などの自然科学に関する工学基礎知識を身に付け、水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な工学知識を習得した農業土木技術者を目指し、国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 農学および生命科学の各分野の教育を受けるために必要な基礎学力だけでなく、論理的思考力、読解力、記述能力などの修得が必要です。
- 自分自身の考えを持ち、さまざまな課題に立ち向かい、解決する行動力を身に付けておくことが必要です。
- 実験室のみならずフィールドでの学習・研究活動を自主的かつ積極的に取り組む意欲が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

農学生命科学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、共通テストと個別学力検査により「学力」を評価します。また、志望理由書と調査書により「行動力」、「意欲」を評価します。これらを総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個別学力検査				
	志望理由書				
	調査書				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、共通テストと小論文により「学力」を評価します。また、志望理由書と調査書により「行動力」、「意欲」を評価します。これらを総合評価して選抜します。	◎	○	○
	小論文				
	志望理由書				
	調査書				
総合型選抜Ⅰ	志望理由書	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	◎	◎
	調査書				
	小論文				
	個人面接				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。また、基礎学力をより適正に判断するため、共通テストの成績を選抜に用います。	○	◎	◎
	志望理由書				
	調査書				
	個人面接				
編入学入試 (第3年次)	小論文	本学部で専門教育を受けるために必要な「学力」、「行動力」、「意欲」を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	◎	○	○
	個人面接				
	編入学願				
	成績証明書				

注) 点数評価・段階評価する項目のうち、◎大きい比重、○小さい比重

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	一般・後期	農学や生命科学などに関連する、いくつかのテーマについて論述させる。論理的思考力、読解力、記述能力などを有しているかどうかを精査することにより、「学力」を評価する。
	総合Ⅰ	
	編入学	
個人面接	総合Ⅰ	志望理由、興味・関心がある研究分野などについて、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価する。また、面接の過程で、口頭試問を行うことにより、「学力」を評価する。編入学入試では「学力」を重視するため、より専門的な内容の口頭試問を行うことがある。
	総合Ⅱ	
	編入学	
志望理由書	一般・前期	志望理由、将来への展望、自己PRなどについて、これまでの勉強やさまざまな活動をとおして得た経験を基に記入する。本学部に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
調査書	一般・前期	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
編入学願	編入学	本学部に対する理解、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。
成績証明書	編入学	教養科目や専門科目の成績を精査することにより、各学科の教育研究内容に関連する「学力」を評価する。

問合せ先一覧

■弘前大学の問合せ先

内 容	担当部署	連 絡 先
入学試験全般に関すること	学務部入試課	0172-39-3122 (FAX) 0172-39-3125
検定料の支払い及び返還に関すること		
入学手続に関すること		
入学料、授業料の免除等に関すること	学務部学生課	0172-39-3117
奨学金に関すること		
学生寮に関すること		0172-39-3107
授業料の口座振替に関すること	財務部財務管理課	0172-39-3043
農学生命科学部のカリキュラム、資格取得等に関すること	農学生命科学部	0172-39-3752
注) 右欄の学部の入学試験に関することは、学務部入試課へお問い合わせください。		
医学部保健学科の入学試験に関すること カリキュラム、資格取得等に関すること	医学部保健学科	0172-39-5911

※平日8：30～17：00（年末年始を除く。）ただし、学生課は9：00～17：00

※電話による問合せは、やむを得ない場合を除き、志願者本人が行ってください。

■弘前大学生生活協同組合への問合せ

弘前大学生協サポセン (https://newlife.u-coop.or.jp/hirosaki/) 保護者説明会、新生活準備（教材・教科書・住まい紹介等）に関すること ※平日10：00～16：00（年末年始を除く。）	0120-154-163 携帯からは↓ 0172-34-9591
試験時の宿泊やチケット予約に関すること 下記からお問い合わせください。 https://newlife.u-coop.or.jp/hirosaki/ready/	電話でのお申込は お受けできません



弘前大学公式ホームページ
<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>



弘前大学入試情報ホームページ
<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>



合格者発表、出願状況、試験当日の連絡
<https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>

添 付 様 式 〔社会人入試用〕

	出 願 書 類	所定用紙No.
1	志 願 票	No. 1
2	写 真 票 受 験 票 「振替払込受付証明書（大学提出用）」貼付台紙	No. 2
3	志望理由書	No. 3
4	履 歴 書	No. 4
5	推 薦 書	No. 5
6	自己推薦書	No. 6
7	払込取扱票・振替払込請求書兼受領証・ 振替払込受付証明書（お客さま用）	No. 7
8	出願用封筒	
9	あて名票	
10	受験票返送用封筒	

弘前までの交通案内

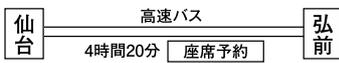
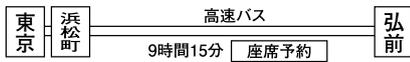
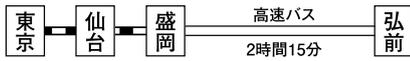
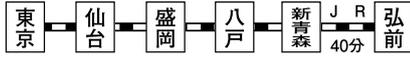
札幌・函館から



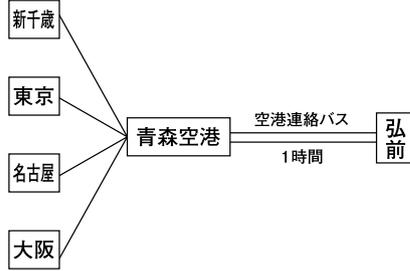
新潟・秋田から



東京・仙台・盛岡・八戸から



空路



試験場略図 (弘前市内)

- ① 医学部保健学科試験場
- ② 農学生命科学部試験場

